

日野市の学校給食

令和7年度

日野市教育委員会 教育部 学務課

日野市の学校給食

日野市の目標

「安全で、おいしく、楽しい給食」

日野市の特徴

1. それぞれの学校で給食を作る自校調理方式
2. 栄養士を1校1人配置
3. 新鮮で安全な食材を使用し、だしやルウも材料から調理
4. 日野産農産物を積極的に使用
5. ランチルームや食堂を備えるなど、食環境を整備
6. 学校給食を通じた食育を推進
7. 調理業務等に民間活力を導入し、経費削減と給食内容の充実を図る

給食食品安全指針

- (1) 食品添加物を使用していない食材を使います
- (2) 国産品、特に日野産農産物の使用に努めます
- (3) 農薬及び化学肥料の使用量を低く抑えて生産した食品の使用を推進します
- (4) 遺伝子組み換え食品・放射線照射食品は使用しません
- (5) 放射性物質汚染されている食材は使用しません
- (6) 食物アレルギーに配慮します
- (7) 異物混入を防止します
- (8) 「食品規格表」に従って給食を運営します
- (9) 施設・設備の改修や更新を計画的に実施します
- (10) 主に強化磁器食器を使用します
- (11) 石けんを使用します
- (12) 衛生管理を徹底します
- (13) 食品検査を実施します
- (14) 食品安全情報を収集し、情報を共有します
- (15) 食品安全に関する意識を高めます

日野市立小中学校学校給食実施状況

令和7年5月1日現在

(1) 小学校

学 校 名	開 校 年	完全給食開始年月	給食従事者		給食数 (教職員は除く)	磁器食器
			栄養士	調理員		
日野第一小学校	明治 6年 (1873年)	昭和32年 (1957年) 3月	1	4 (1)	469	○
豊田小学校	明治 7年 (1874年)	昭和34年 (1959年) 6月	1	—	857	○
日野第三小学校	昭和 23年 (1948年)	昭和32年 (1957年) 11月	1	—	375	○
日野第四小学校	昭和 6年 (1931年)	昭和32年 (1957年) 11月	1	—	598	○
日野第五小学校	昭和 34年 (1959年)	昭和34年 (1959年) 11月	1	—	905	○
日野第六小学校	昭和 40年 (1965年)	昭和40年 (1965年) 6月	1	—	698	○
潤徳小学校	明治 6年 (1873年)	昭和34年 (1959年) 5月	1	5 (2)	693	○
平山小学校	明治 6年 (1873年)	昭和34年 (1959年) 5月	1	4 (3)	642	○
日野第八小学校	昭和 44年 (1969年)	昭和44年 (1969年) 10月	1	—	583	○
滝合小学校	昭和 46年 (1971年)	昭和46年 (1971年) 7月	1	—	456	○
日野第七小学校	昭和 48年 (1973年)	昭和48年 (1973年) 5月	1	—	576	○
南平小学校	昭和 49年 (1974年)	昭和49年 (1974年) 12月	1	—	492	○
旭が丘小学校	昭和 52年 (1977年)	昭和52年 (1977年) 4月	1	—	430	○
東光寺小学校	昭和 54年 (1979年)	昭和54年 (1979年) 5月	1	—	342	○
仲田小学校	昭和 59年 (1984年)	昭和59年 (1984年) 5月	2	—	441	○
夢が丘小学校	平成 14年 (2002年)	平成14年 (2002年) 4月	1	—	294	○
七生緑小学校	平成 20年 (2008年)	平成20年 (2008年) 4月	1	—	322	○
計			18	19	9,173	

※一小、潤徳小、平山小は会計年度任用職員を配置

() は会計年度任用職員。合計6人

※仲田小の1人は栄養教諭

※小学校17校中14校の民間委託（給食調理・配食・洗浄・施設設備清掃など）を実施。

(2) 中学校

学 校 名	開 校 年	完全給食開始年月	給食従事者		給食数 (教職員は除く)	磁器食器
			栄養士	調理員		
日野第一中学校	昭和22年 (1947年)	昭和59年 (1984年) 6月	1	—	704	○
日野第二中学校	昭和29年 (1954年)	昭和62年 (1987年) 5月	1	—	594	○
七生中学校	昭和22年 (1947年)	昭和60年 (1985年) 9月	1	—	457	○
日野第三中学校	昭和45年 (1970年)	平成 2年 (1990年) 9月	1	—	312	○
日野第四中学校	昭和48年 (1973年)	昭和63年 (1988年) 5月	1	—	550	○
三沢中学校	昭和52年 (1977年)	昭和59年 (1984年) 6月	1	—	654	○
大坂上中学校	昭和55年 (1980年)	昭和58年 (1983年) 5月	1	—	595	○
平山中学校	昭和56年 (1981年)	昭和56年 (1981年) 5月	1	—	400	○
計			8	—	4,266	

※中学校全8校の民間委託（給食調理・配食・洗浄・施設設備清掃など）を実施。

※三中は栄養教諭

日野市の学校給食のあゆみ

昭和32年（1957年）	日野第一小学校で完全給食開始
昭和34年（1959年）	当時の全小学校で完全給食完了
昭和38年（1963年）	中学校でミルク給食開始
昭和43年（1968年）	米飯給食学期に1回実施
昭和46年（1971年）	米飯給食月1回に
昭和53年（1978年）	米飯給食月2回に、以後段階的増加
昭和56年（1981年）	平山中学校で日野市初の中学校の完全給食開始
昭和58年（1983年）	大坂上中学校で食堂方式による給食開始
昭和58年（1983年）	東光寺小学校、大坂上中学校で地元産野菜・果物を取り入れる
昭和62年（1987年）	日野第八小学校にランチルーム開設
平成 2年（1990年）	日野第三中学校完全給食開始。 全中学校で食堂を備えた給食完了
平成 4年（1992年）	強化磁器食器導入開始
平成10年（1998年）	日野産米を本格的に利用開始。9.5ト使用
平成10年（1998年）	日野第六小学校給食室建替え。ドライ方式を採用
平成12年（2000年）	市内小中学校28校で地元産野菜等利用へ
平成14年（2002年）	日野第一中学校、七生中学校の調理業務を民間に委託。地元産野菜等使用20周年記念事業を実施。 食品安全指針策定
平成15年（2003年）	日野第二中学校の調理業務を民間に委託
平成16年（2004年）	日野第三中学校、日野第四中学校、三沢中学校の調理業務を民間に委託。
平成17年（2005年）	大坂上中学校、平山中学校調理業務を民間に委託 中学校全校民間委託完了
平成18年（2006年）	日野第二小学校、日野第四小学校、日野第五小学校調理業務を民間に委託
平成19年（2007年）	日野第六小学校、仲田小学校調理業務を民間に委託
平成20年（2008年）	夢が丘小学校調理業務を民間に委託
平成22年（2010年）	東光寺小学校調理業務を民間に委託
平成23年（2011年）	滝合小学校調理業務を民間に委託
平成24年（2012年）	七生緑小学校調理業務を民間に委託 食品安全指針・食品規格表改訂
平成25年（2013年）	旭が丘小学校調理業務を民間に委託
平成26年（2014年）	日野第八小学校調理業務を民間に委託
平成27年（2015年）	日野第七小学校調理業務を民間に委託
平成31年（2019年）	日野第三小学校調理業務を民間に委託
令和 2年（2020年）	南平小学校調理業務を民間に委託
令和 6年（2024年）	食品安全指針・食品規格表改訂 学校給食費の公費負担化を開始

給 食 費 の 推 移

(単位：円)

年度	適用月	区 分	給食費 (月額)	市費 (牛乳) 補助 (年額)	保護者負担	
1997	4～7月	小学校	低学年	3,350	1,100	3,250
			中学年	3,600	1,100	3,500
			高学年	3,850	1,100	3,750
		中学校		4,100	1,100	4,000
1997	9～3月	小学校	低学年	3,700	1,100	3,600
			中学年	4,000	1,100	3,900
			高学年	4,300	1,100	4,200
		中学校		4,600	1,100	4,500
1998 ～ 2001	4～3月	小学校	低学年	3,700	1,100	3,600
			中学年	4,000	1,100	3,900
			高学年	4,300	1,100	4,200
		中学校		4,600	1,100	4,500
2002 ～ 2008	4～3月	小学校	低学年	3,700	1,100	3,600
			中学年	4,000	1,100	3,900
			高学年	4,300	1,100	4,200
		中学校		4,900	1,100	4,800
2009 ～ 2010	4～3月	小学校	低学年	3,800	1,100	3,700
			中学年	4,100	1,100	4,000
			高学年	4,400	1,100	4,300
		中学校		4,950	1,100	4,850
2011	4～3月	小学校	低学年	4,100	1,100	4,000
			中学年	4,450	1,100	4,350
			高学年	4,800	1,100	4,700
		中学校		5,450	1,100	5,350
2012 ～ 2017	4～3月	小学校	低学年	4,090	990	4,000
			中学年	4,440	990	4,350
			高学年	4,790	990	4,700
		中学校		5,440	990	5,350
2018 ～ 2023	4～3月	小学校	低学年	4,200	1,080	4,100
			中学年	4,570	1,080	4,470
			高学年	4,920	1,080	4,820
		中学校		5,600	1,080	5,500
2024	4～3月	小学校	低学年	4,510	1,080	4,100
			中学年	4,920	1,080	4,470
			高学年	5,310	1,080	4,820
		中学校		6,050	1,080	5,500
2025	4～3月	小学校	低学年	4,610	学校給食費の公費 負担化により廃止	/
			中学年	5,020		
			高学年	5,410		
		中学校	6,150			

学校給食調理員配置基準（市調理員）

（平成4年4月改正）

小学校		中学校	
給食数	調理員数	給食数	調理員数
300人以下	3人	300人以下	3人
301～500人	4人	301～500人	4人
501～800人	5人	501～700人	5人
801～1200人	6人	701～900人	6人
1201～1700人	7人	901～1300人	7人
		1301人以上	8人に生徒数300人増すごとに1人加える

牛 乳 の 取 扱 い

（公財）東京都学校給食会からの供給が紙パックとなったため、平成18年度より、瓶装で供給できる業者と独自に契約している。

供給形態	業者名	令和7年度価格
瓶装 (200ml)	新生酪農	65円38銭 (税抜)

地 元 野 菜 使 用 率

昭和58年より学校給食への地元野菜の使用を開始し、平成12年からは市内小・中学校の全校で使用している。

平成27年度使用率	23.2%
平成28年度使用率	25.6%
平成29年度使用率	27.2%
平成30年度使用率	29.8%
令和元年度使用率	28.1%
令和2年度使用率	31.8%
令和3年度使用率	28.3%
令和4年度使用率	30.6%
令和5年度使用率	30.3%
令和6年度使用率	26.9%

（金額ベースで算出） *6月・11月の平均

学校給食の民間委託実施の状況

中学校全8校

学 校 名	民間委託実施年月日	委 託 先 (現在)
日野第一中学校	2002年4月1日	(株) 東洋食品
日野第二中学校	2003年4月1日	(株) レクトン
七生中学校	2002年4月1日	フジ産業 (株)
日野第三中学校	2004年4月1日	フジ産業 (株)
日野第四中学校	2004年4月1日	(株) ジーエスエフ
三沢中学校	2004年4月1日	(株) 東洋食品
大坂上中学校	2005年4月1日	フジ産業 (株)
平山中学校	2005年4月1日	フジ産業 (株)

小学校全17校中14校

学 校 名	民間委託実施年月日	委 託 先 (現在)
豊田小学校	2006年4月1日	(株) レパスト
日野第三小学校	2019年4月1日	東京ケータリング (株)
日野第四小学校	2006年4月1日	(株) メフォス
日野第五小学校	2006年4月1日	日本給食 (株)
日野第六小学校	2007年9月1日	(株) メフォス
日野第八小学校	2014年4月1日	(株) ジーエスエフ
滝合小学校	2011年4月1日	東京ケータリング (株)
日野第七小学校	2015年4月1日	(株) ジーエスエフ
南平小学校	2020年4月1日	(株) 東京天竜
旭が丘小学校	2013年4月1日	(株) レクトン
東光寺小学校	2010年4月1日	(株) レパスト
仲田小学校	2007年9月1日	(株) レクトン
夢が丘小学校	2008年4月1日	シダックス 大新東ヒューマンサービス (株)
七生緑小学校	2012年4月1日	(株) 東洋食品

委託の内容

給食調理・配食・洗浄・施設設備清掃など